

ふるさと切手「九州の花と風景Ⅱ」の2種類

郷 康弘

現在発行の現行の切手の種類は

- ①普通切手
- ②特殊切手
- ③ふるさと切手
- ④グリーティング切手
- ⑤ご当地フレーム切手
- ⑥オリジナルフレーム切手

の、6つに区分されています。

ここでは、郵便局民営化以前の2006年6月1日発行の九州7県ふるさと切手シート九州-50「九州の花と風景Ⅱ」のシートを紹介します。

これには、国立印刷局製造と凸版印刷株式会社製造の2種類が存在しています。前者では、グラビア印刷でしたが、後者では、オフセット印刷ということです。

銘版は無論異なりますが、各々の10種20枚の切手でも、ルーペで見れば違いは分かるということです。

2ページ目・3ページ目にシートを掲載します。

グラビア印刷・・・網目状のスクリーンを用いて薬品で腐蝕させて製版する「コンベントショナル」製版が一般的であったが、最近は、ダイヤモンド針で版の表面を彫る「電子製版」が主流

オフセット印刷・・平版印刷ともいい、原版面からゴムの円筒面に刷り、次いでこのゴム面を用紙に押しつけて印刷する



九州の花と風景Ⅱ（福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県
大分県・宮崎県・鹿児島県）九州一50

